

みどり森再発見 古いけど新しい歩きかた

みどり森の昔めぐり

名前の由来は？

おまん坂

昔、宮寺におまんという女を深く愛していた男がいました。しかし、おまんは別の男と結婚し、お嫁へ行ってしまいました。がっかりした男は、おまんが初めての里帰りの途中、坂で待ち伏せて殺してしまいました。それ以来、人々はこの坂を「おまん坂」と呼ぶようになりました。



おまん坂



大日如来像

おまん坂の山頂には、市内最古の石仏「大日如来像」があり、この辺りのことを「大日山」と呼んでいます。

出雲祝神社

約二千年前に創建したといわれる、歴史の古い神社です。江戸時代ころから「寄木（よりぎ）様」と親しまれており、老樹も多くあります。また、神社境内の本殿裏には、入間市の指定文化財とされている「重鬮茶場碑（かさねてひらくちやじょうのひ）」があります。この碑には狭山茶の発祥、再建の由緒が記されています。



碑の背後には茶畑が広がる

探しものは何ですか？

ハタヤの稲荷

昔から、物をなくした時にはこの稲荷に祈願すると見つかるという伝えられています。探しものが見つかったら、生玉子をお供えます。「ハタヤ」は漢字で書くと「機屋」。地域の方のお話によると、昔この辺りでは機織りがさかんだったそうで、この稲荷の所有者の祖先様も織物製造業を営んでいたのではないのでしょうか。また、近くには、吹き出物などの皮膚病にかかった時に願掛けをする「道守（かさまり）稲荷」や、白蛇伝説のある樹齢三百年の「大エノキ」、武塔（むとう）天神」があります。



ハタヤの稲荷

西久保観世音

神龜五年（七二八年）の春、行基が全国行脚の途中で堂を開いたのが始まりです。毎年一月一七日の初護摩と八月一七日の縁日には、「鉦はり」が行われます。双盤鉦（そうばんがね）という鉦（四名）と太鼓（一名）の五名で構成され、楽器を打ちながら独特の節をつけて「南無阿弥陀仏」を唱えます。



カヤの木

また、毎年春と秋には「百万遍念仏」が行われます。昔、念仏を唱える際に使って短くなったロウソクは、妊婦のいる家が持ち帰り、お産のときに灯すという風習があり、「燃え尽きるまでに子どもが生まれる」といわれ、短いほど喜ばれたそうです。

滝の不動様の伝説

狩りにやってきたお殿様。不動様の前で馬から落ちて怒って帰っていった。



二年ほどして再びやってきたお殿様。今度は家にしとめたウサギやキジを持たせてやってきた。



怒った不動様殿様をたたき落とす。そしてお不動様どこかに飛んで消え。それ以来滝は落ちず…



みどり森に滝跡？ 大聖寺山

昔、疎林広場のあたりには「大聖寺」というお寺がありました。近くには滝があり、「滝の不動様」もあつたそうです。現在も、滝の跡は残っています。また、そこから山を登っていくと、「庚申塔（こうしんとう）」や「文教塚」、「高根社」が現存しており、当時ここにも人の営みがあったというのを知ることができるとなっています。



庚申塔



滝跡



文教塚

都稲荷神社

実は一度、お引越しています。全ての願いが叶う稲荷様として、「叶稲荷（かのういなり）」という愛称で昔から地元の人たちがお参りしていた稲荷神社。元々は現博物館敷地内にある「かし山」と呼ばれていたカシノキが多い山の上におりましたが、昭和四五年（一九七〇年）に現在の場所に移築新築されました。



都稲荷神社

お伊勢台

遠くの神様を信仰しました。宮寺のこの辺りでは、江戸時代に「伊勢講」が行われていました。伊勢講とは、三重県伊勢市の伊勢大神宮への参拝を目的とした講（団体）で、毎年三月に交代で三人の代参（だいさん）を出し、残った村人は集まってこの高台から参拝したそうです。



お伊勢台

遠くの神様を信仰しました

旅の行程

三月一日 出発
三月一五日 大神楽をあげて、代参を済ませる。
（同日同時に伊勢台で伊勢大神宮に向って参拝）
代参者帰宅。
みんな「お日待ち講」（日の出まで酒宴！）

参考文献：入間市史編さん室編（1991ほか）入間市史 中世史料・金石文編 / 入間市史 近世史 / 入間市史 民俗・文化財編 / 入間のよもやまばなし 入間市文化財保護審議委員会（1971ほか）入間市の文化財第1・3・5・6集 吉川忠八（1979）西久保観世音の信仰と歴史 橋本定（1998）狭山丘陵おぼえ書 宮寺公民館（1975）宮寺小史 本物製作にあたり、殿の森倶楽部の穂原秀夫氏には多大なるご協力を頂きました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

◆親子はじめての自然観察

みどり森を親子で楽しく観察します。冬の雑木林ではどんな自然や生きものに出会えるでしょうか。

日時：2月24日(日) 9:30~12:00
対象：小学生と保護者 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：1月24日から受付を開始します。

◆大人の自然観察会~初級者編・早春~

さまざまな動植物が見られるみどり森をフィールドに、早春の自然を観察します。初心者向けです。

日時：3月24日(日) 9:30~12:00
対象：中学生以上 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：2月24日から受付を開始します。



◆食育体験教室「田んぼでお米を作ろう！」

稲作を通してお米ができるまでの過程を体験し、米作りの大変さや食の大切さに気付いてもらう全7回の食育体験教室です。

日時：5/19、6/2、7/7、8/4、9/1、10/6、10/27 (いずれも日曜日) 各回10:00~15:00
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：40名
参加費：3000円(全7回分、保険代、材料費)
要申込：4月19日から受付を開始します。

◆幼児とババママで楽しむ自然あそび

幼児のお子さんと一緒に、のんびりと自然を楽しめるプログラムです。

日時：3月30日(土) 10:00~12:00
対象：4~6歳の幼児と保護者 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：2月28日から受付を開始します。



◆みどり森ガイドウォーク

案内所周辺をスタッフと歩きます。テーマは毎回変わります。毎月第2土曜日と第4日曜日に開催。

日時：1月12日(土)、1月27日(日)、2月9日(土)、3月9日(土) 各回13:30~14:30
対象：どなたでも 定員：15名
参加費：無料
要申込：当日10時半から案内所にて受付を行います。

◆食育体験教室「畑で夏野菜を作ろう！」

畑で体を動かし土に触れながら野菜作りを体験。作物を育てる楽しさや大変さを学び、身近な夏野菜を味わいます。全5回参加できる方が対象です。

日時：4/27、5/25、6/22、7/27、8/24 (いずれも土曜日) 各回10:00~15:00
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：20名
参加費：3000円(全5回分、保険代、材料費)
要申込：3月27日から受付を開始します。



博物館からのお知らせ

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

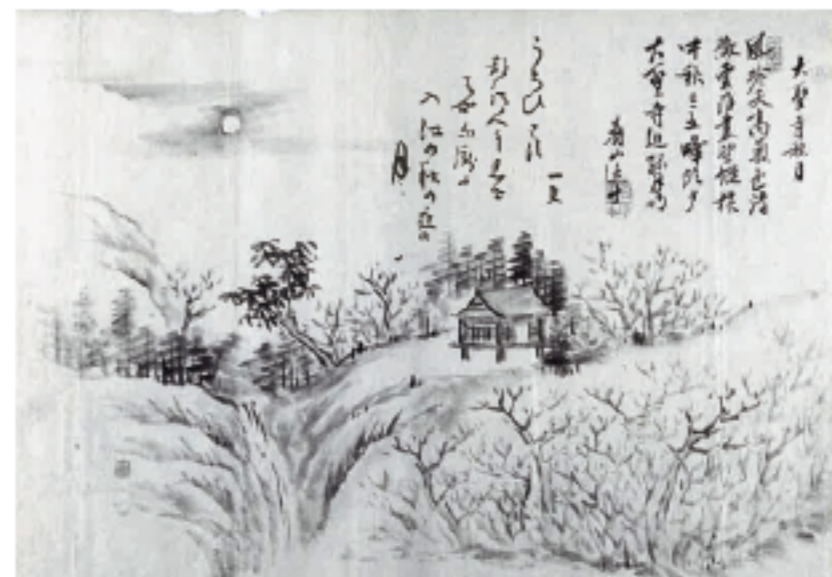
- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。



開館時間 9:00~17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
【公式HP】 <http://saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

発行:さいたま緑の森博物館
発行年月:2013年1月
住所:〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX:04-2934-4396

とても幻想的なこの絵、実は、昔のみどり森のある場所を描いたものなんです。みなさん、どこか分かりますか?



明治21年ごろに制作された「宮寺八景」(宮寺地区の景勝地を8つ選定し、絵と詩をつけた作品集)の中の一枚「大聖寺秋月」という作品です。大聖寺の場所について知りたい人は中面へ!

引用:入間市博物館(2002)入間市博物館紀要 第二号

寒い日が続いています。森の植物や生きものたちも春が来るのをじっと待ち続けている時期です。こんな時は、いつもとちょっと違う視点で森を歩いてみるのはいかがでしょうか。

今回の特集は「みどり森の昔めぐり」。実は、みどり森は古くから地元の人々とのつながりが深い場所であり、現在にも受け継がれ、守られているものがたくさんあります。今回、改めて文献で調べてみると、今まで知らなかった言い伝えなどもたくさんあることがわかり、とても勉強になりました。全て紹介することができず残念ですが、中面にぎゅっとつめ込んでみました。お散歩のお供にどうぞ。

ひーちゃん&篠原さん

みどり森のおすすめスポット(1月~3月)

1月から2月は厳冬期で、最低気温は氷点下の日が続きます。冷たく乾いた北風が湿地や雑木林に吹きつけます。2月下旬になると気温も上昇! 春の足音を予感させる生き物たちの活動からは目が離せません! ぜひ春一番を見つけに行ってみましょう。

★自然すべてが展示物である「みどり森」では動植物の採取は禁止です★
この森の動植物を持ち去ること、他の場所から持ち込むことはしないでくださいね!

西久保湿地

いち早く開花するハンノキは2月中旬に風で花粉を飛ばします。乾いた田んぼにはキツネアザミやナズナなどのロゼット(地面にはりつき放射状に広がる葉のようす)が見られ、3月下旬にはコオニタビラコなどが開花します。ため池や湿った田んぼには2月中旬からアカガエルの卵塊が見られるでしょう。

雑木林広場

冬晴れの日には西側に富士山が見えます。雪がつもるとノウサギの足跡が残っていることがあります。ヒサカキの実をついばむ野鳥の姿も探してみましょう。

案内所周辺

案内所前のウグイスカグラは早咲きで1月中旬に開花します。3月下旬にはスミシの仲間も咲き始めます。

水鳥の池

厳冬期は全面結氷します。氷の上をセグロセキレイが歩いてくれているかもしれません。

大谷戸湿地

2月、ノスリが湿地や池を見張るようになり、日中もタヌキが出てくることもあります。どちらもカエルが目当てのようです。3月下旬、ヨシ刈りが行われると湿地は一気に春を迎えます。

